



非核平和千葉県宣言

宿泊税
県営住宅

高校統廃合

現場の声、苦しみを受け止めようとし
ない
県政を変えるために、力を尽くします

戦争のない平和な社会の建設の悲願である。
我が国は、世界唯一の核被爆非核三原則を国是として、世界
しかしながら、今日なお、地
教・経済的利害の対立などによ
より人々が苦しんでいる。
私たちは、恒久平和という人
し全世界の協力による戦争と
である。
よって、千葉県議会として人間
世界の恒久平和という目標をこ

丸山慎一
県議が一般質問で強調

2024年12月千葉県議会で丸山慎一県議（上写真）は、非核平和千葉県宣言（知事の政治姿勢）、新湾岸道路建設、三番瀬の人工干潟、県立高校統廃合、空き家が増大している県営住宅、一律に150円を徴収し、修学旅行生などにまったく配慮がない宿泊税などについて質しました。

非核千葉県宣言30周年 あらめて県民に周知を

「宣言」は、核兵器廃絶と世界の恒久平和、戦争という手段によらずに紛争を解決する道を追及と、のべています。丸山県議は「政府が進める軍備増強は、宣言の方向とは相容れない」と認識問いました。知事は「戦争のない平和な社会を次代に引き継ぐことが責務」との応えにとどまりました。

今年10月に日本原水爆被害者団体協議会＝日本被団協がノーベル平和賞を受賞。県内の被爆者は3月末現在1600人を超えています。県に被爆者の思いをつなぐ「宣言」をあらためて、小・中・高校の児童生徒など広く県民に周知するよう求めました。県は「今後とも非核平和に関する周知広報を行なう」と答えました。



加藤 英雄
(柏市)
総務防災常任委員

新湾岸道路建設 県は渋滞解消を理由にしていますが、ちばぎん総研の推計で「現役世代」が2割以上も減少することを示して、交通量予測の甘さを厳しく指摘しました。



丸山 慎一
(船橋市)
県土整備常任委員

県立高校統廃合 県教委がいう「適正規模」の学級数は、学校経営上の効率性を基準にしたもの。定員割れの学校でも教育効果をあげている高校を紹介し、少人数学級の実現、高校統廃合断念を求めました。



みわ 由美
(松戸市)
健康福祉常任委員



浅野ふみ子
(市川市)
文教常任委員

一回目の質問全文
コチラから →



日本共産党

Japanese
Communist
Party

日本共産党千葉県議会だより 2024年12月22日号 ☎043(223)2544